

平成24年度アジア学術セミナー 実施報告書

平成24年11月5日

1 委託事業・セミナー名

(和文) JSPS-NRF アジア学術セミナー：生活支援技術研究の在り方に関するセミナー

(英文) JSPS-NRF Asian Science Seminar: Seminar on How We Proceed Research Activities in Developing Assistive Technology

2 セミナーの目的

既に超高齢社会に突入した日本のみならず、韓国においても高齢化は年々加速している。これまでも両国においては、さまざまな高齢者支援技術の開発やスマートハウス、スマートシティなどの実証実験が行われてきているが、両国の抱えるこうした問題への対応は、高齢者支援技術を開発する研究者や開発者のみならず、国や行政といった制度面での対応や、さまざまな分野の専門家からの知見が必要となる。研究開発にあたっては、開発コストの低減や普及の加速を図るためには、ユーザを巻き込んだ **Need-Finding** や **Design Thinking**、**Multi-Disciplinary Approach** といったコンセプトの重要性を認識することが求められる。また、多くの地域および国が連携することにより、ユーザの母数が増加して、その研究開発に社会資本を投下する妥当性が生まれるが、その際には異なる文化背景や社会制度等への適合 (**Adjustment**) も重要となる。

本セミナーでは、高齢者支援技術分野における学術研究の先端を学ぶという側面と同時に、研究方向、研究方法、その評価について、それらがどうあるべきか考える機会を研究者に与えることを目的としている。従って、このセミナーから得られた刺激をもとに、新しい研究テーマが見つかり、その成果が社会に貢献することを期待している。

3 開催期間

平成24年8月26日～平成24年8月31日（6日間）

4 開催地（会場）

札幌会場：札幌パークホテル（北海道札幌市）

東京会場：品川プリンスホテル、八芳園（東京都港区）

5 開催体制

(1) 共催機関

日本側	独立行政法人日本学術振興会
	学校法人法政大学
韓国側	韓国研究財団（NRF）
	Korea Advanced Institute of Science and Technology

(2) 開催責任者

1) 日本側 開催責任者所属機関・職・氏名 法政大学デザイン工学部・教授・小林尚登

機関所在地・電話等 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL +813-3264-1409

FAX +813-3264-9287

Email: h@hosei.ac.jp

連絡担当者所属機関・職・氏名 法政大学情報技術 (IT) 研究センター事務室・課長・日野好幸

機関所在地・電話等 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL +813-3264-9935

FAX +813-3264-9287

Email: yoshiyuki.hino.44@adm.hosei.ac.jp

2) 韓国側 開催責任者所属機関・職・氏名 Korea Advanced Institute of Science and Technology, Dept of ME・Professor, Dong-Soo Kwon

機関所在地・電話等 〒

TEL +82- 42-869-3042

FAX +82-42-869-3210

Email: kwonds@kaist.ac.kr

6 運営体制・方法、組織委員会について

小規模のセミナーであり、短期間の準備期間であるために組織委員会等は作らずに実働者のみのプロジェクト方式とした。

日本側は、小林尚登を中心にした法政大学内のスタッフ 5 名でプロジェクトチームを作り運営にあたった。また韓国側も Dong Soo Kwon を中心とした数名のプロジェクトチームを作り、韓国内の受講生の選考および韓国側講師の手配を行った。日本側と韓国側のプロジェクトチームは、定期的に遠隔会議システムを通じて議論しながら進められた。

7 日程及び議題 (別添でも可)

8月26日(日)夜 ウェルカムレセプション

8月27日(月)午前:セミナー(講演1, 2)

午後:グループディスカッション(1, 2)(課題説明等)セミナー(講演3, 4)

8月28日(火)午前:セミナー(講演5, 6)

午後:フィールドワーク(札幌市内の医療福祉施設見学およびインタビュー、ニーズ調査)

グループディスカッション(3)

8月29日(水)午前:セミナー(講演7, 8)

午後:グループディスカッション(4)、セミナー(講演9)

8月30日(木) 午前：セミナー(講演10) グループディスカッション(5)

午後：都心へ移動、グループディスカッション(6)

8月31日(金) 午前：各プロジェクトグループによる最終発表

午後：記念講演会および懇親会

時間割

午前：9:00～11:45

午後：13:00～17:00 (20:00～22:00)

※詳細は別添を参照のこと

8 参加者について

(1) 参加者数

	講師数	受講者数	合計
日本側からの参加者数	4	12	16
(うち、本事業経費による参加者 ^[注])	4	12	16
韓国側からの参加者数	5	15	20
その他の国からの参加予定数	1	2	3
(うち、本事業経費による参加者 ^[注])	1	2	3
合計	10	29	39
(うち、本事業経費による参加者 ^[注])	10	29	39

[注]オブザーバーとして参加する者は、本事業経費による参加者とはなりません

(2) 講師について

1) 講師の選出方法

次の条件をできる限り満たす研究者のなかから、開催時期に都合のつく研究者から選出した。

- (1) 当該分野に造詣が深く、多くの研究成果を発表している研究者
- (2) 博士課程の学生を数多く育成した経験のある研究者
- (3) 当該セミナーの趣旨に賛同する研究者
- (4) 当該分野の啓蒙活動をしている研究者、とくに世界的な研究ネットワークを構築して活動している研究者

また、研究者以外に当該分野でビジネスを展開している実業家を招聘し、何が人々に貢献する真のニーズかについての講演をして頂いた。

2) 講師リスト

講師としての参加者・計10名

姓	名	職名	所属機関	所属国名 ¹⁾	備考 ²⁾
(日本側講師)					
小林	尚登	教授	法政大学	日本	*
山崎	泰広	代表取締役社長	株式会社アクセスインターナショナル	日本	*
寺嶋	一彦	教授	豊橋技術科学大学	日本	*
久保田	直行	准教授	首都大学東京	日本	*
(韓国側講師)					
Kwon	Dong-Soo	Professor	KAIST	韓国	*
Kang	Sung-Chul	Director	KIST	韓国	*
Park	Kyung-Bin	Professor	Gachon University	韓国	*
Lee	Sungyoung	Professor	Kyung Hee University	韓国	*
Han	Dong-Hee	Director	Research Institute of Science for the Better Living of the Elderly People	韓国	*
(その他講師)					
Mokhtari	Mounir	Professor	Institute TELECOM France	シンガポール	*

¹⁾ 参加者が所属する機関の所在国を記入して下さい

²⁾ 本セミナー経費にて参加される方については、備考欄に「*」を記入して下さい。オブザーバーとして参加される方については、同「オブザーバー」と記入して下さい。(この場合、本事業経費対象外となりますのでご注意ください。)

(3) 受講者について

1) 受講者の募集・選考方法

受講生は、当該分野の研究に従事する博士課程学生にメーリングリスト、Webサイト等で公募し、その意欲、研究履歴、指導教授からの推薦を元を選考する。

2) 受講者リスト

受講者としての参加者・計29名

姓	名	職名	所属機関	所属国名 ¹⁾	備考 ²⁾
(日本側受講者)					
田崎	良祐	助教	豊橋技術科学大学	日本	*
上野	祐樹	Ph. D	豊橋技術科学大学	日本	*
横田	祥	専任講師	摂南大学	日本	*
LOPEZ	NOE VELAZQUEZ	Ph. D	東京農業大学	日本	*
檜皮	えりこ	Ph. D	首都大学東京	日本	*
禹	珍碩	Ph. D	首都大学東京	日本	*
Fontugne	Romain	PostDoc	東京大学	日本	*
水岡	隆子	Ph. D	北陸先端科学技術大学院大学	日本	*

叶	晶	Ph. D	早稲田大学	日本	*
山崎	洋一	助教	関東学院大学	日本	*
張	珉榮	Ph. D	明治学院大学	日本	*
今村	由芽子	Ph. D	北海道大学	日本	*
(韓国側受講者)					
Park	Chul Je	Ph. D	KITECH	韓国	*
Dai	Yanyan	Ph. D	Young Nam University	韓国	*
Han	Man Hyung	Ph. D	Kyung Hee University	韓国	*
Ji	Yong Hoon	Ph. D	Korea University	韓国	*
Kim	Yun Kyung	Ph. D	KAIST	韓国	*
Yang	Jeong-Yean	Post Doc.	KAIST	韓国	*
Choi	Ham I	MS	KAIST	韓国	*
Hwang	Min Ho	Ph. D	KAIST	韓国	*
Park	Dae Geun	Ph. D	Seoul University	韓国	*
Shim	Hyun Ju	Research Engineer	Research Institute of Science for the Better Living of the Elderly People	韓国	*
Park	Wan Joo	Ph. D	KIST	韓国	*
Kim	Kiwon	Ph. D	KAIST	韓国	*
Kim	Young Kook	Ph. D	KAIST	韓国	*
Kang	Hye Yon	Ph. D	Yonsei University	韓国	*
Hwang	Ji Hye	Ph. D	Yonsei University	韓国	*
(その他受講者)					
Aloulou	Hamdi	Ph. D	CNRS IPAL Singapore	シンガポール	*
Fagette	Antoine	Ph. D	CNRS IPAL Singapore	シンガポール	*

¹⁾ 参加者が所属する機関の所在国を記入して下さい

²⁾ 本セミナー経費にて参加される方については、備考欄に「*」を記入して下さい。

9 本セミナーで得られた成果

(1) 学術的な観点からの成果について

本セミナーでは、「セミナーの目的」に示したとおり、高齢者支援技術分野における学術研究の先端を学ぶだけでなく、研究方向、研究方法、その評価について、どうあるべきか考える機会を研究者へ提供することを目的としている。本セミナーは、車椅子やシーティング関連製品の販売を行う会社を運営し、自らも車椅子利用者である山崎泰広氏による「研究者とエンドユーザの間にある相互不理解やニーズ把握の重要性」に関する講演に始まり、真に社会に役立つ支援技術とは何かについての問題提起を受けた。このことにより、参加者は、セミナー講義において高齢者支援技術、スマートハウス、スマートシティの開発など学術研究の先端を学ぶだけでなく、「人の手で助けるだけではなく道具を駆使し、自立を支援すること」、「現状に対応するだけの目的ではなく、次に来る時代に対応できるように、ひとつ上を目指した目的を考えること」の重要性を再認識したうえで、自らの研究課題の設定を行った。さらに、セミナー期間中

には、フィールドワークでの高齢者向け施設の見学及びインタビュー等を通じ、ニーズの把握(Needs-Finding)、研究開発コンセプトの設定の重要性(Design Thinking)を認識することができた。次世代を担う若手研究者がこのセミナーを通じ、単に研究者の興味や思いつきではなく、あらゆる観点から複数の学問分野の人々が協業して検討し、さらにはユーザも検討グループに加わることの重要性 (User-centered Design) を認識できたことは大きい。今後、常にこうした研究開発コンセプトの重要性を認識しながら自らの研究活動を続けることによって、真に実社会に貢献する研究成果が生まれてくることが大いに期待される。

(2) 国際交流及び若手研究者育成の観点からの成果について

本セミナーでは、文化背景・専門分野が異なる受講生を4～5名程度のグループに分け、フィールド調査及びグループディスカッションなどをグループに課した。グループ内の議論、活動を行うために自然とグループメンバーの交流が醸成され、ここでの交流が将来の国際共同研究の芽となることが大いに期待される。また、異なる研究機関の研究者、異なる文化背景をもつ研究者と議論し、プレゼンテーションを行うという経験を通じて、国際的な研究プロジェクトに参加するためのトレーニングを積むことができた。当該研究分野は、多くの国が共通して直面する解決すべき研究テーマが数多くあり、国や地域が連携した国際的な研究活動が期待されている一方、国際的な研究活動には異なる文化背景や社会制度等への適合

(Adjustment) が重要となる。その意味においても次世代を担う若手研究者がグループ活動を通じ、国際共同研究のマインドセットを得たことは重要であると考え。本セミナーによって得られた成果は、高齢者支援技術にとどまらず、益々必要とされる分野領域・文化を超えた様々な研究取組にも生かされるものと期待する。



グループディスカッション風景



プレゼンテーション風景

JSPS-NRF Asian Science Seminar2012

Schedule

1st day : August 26

17 : 30 – 17 : 45	Registration
17 : 45 – 18 : 15	Seminar 0 “Welcome to Asia Science Seminar” Dong-Soo Kwon Professor, Korea Advanced Institute of Science and Technology Hisato Kobayashi Professor, Hosei university
18 : 15 – 18 : 30	Participants Introduction & Group Arrangement
18 : 30 – 20 : 30	Welcome Reception

2nd day : August 27

09 : 00 – 10 : 15	Seminar 1 “Key Issues on R&D for Elderly/ people with Disabilities” Yasuhiro Yamazaki President, Access International, Tokyo Japan
10 : 15 – 10 : 30	Break
10 : 30 – 11 : 45	Seminar 2 “IT for Future Health and Wellbeing” Mounir Mokhtari Professor, Institute TELECOM France
11 : 45 – 13 : 00	Lunch
13 : 00 – 15 : 00	Group Discussions 1 “What should we do as researchers?”
15 : 00 – 16 : 15	Seminar 3 “Creative Thinking and Creativity Development Method” Kyung-Bin Park Professor, Gachon University
16 : 15 – 16 : 30	Break
16 : 30 – 17 : 45	Seminar 4 “Smart Clinical Decision Support System (CDSS) over Cloud” Sung-Yong Lee Professor, Kyung Hee University
18 : 15 – 19 : 30	Dinner
20 : 00 – 22 : 00	Group Discussions 2 “How should we plan our research projects?”

3rd day : August 28

09 : 00 – 10 : 15	Seminar 5 “Development of Assist Robot and Smart Nursing Station to Enrich Aging Society” Kazuhiko Terashima Professor , Toyohashi University of Technology
10 : 15 – 10 : 30	Break
10 : 30 – 11 : 45	Seminar 6 “Rethinking Aging” Dong-Hee Han Director, Research Institute of Science for the Better Living of the Elderly People
11 : 45 – 13 : 30	Lunch
13 : 30 – 17 : 30	Field work
18 : 00 – 19 : 30	Dinner
20 : 00 – 22 : 00	Group Discussions 3 "Brainstorming for Technologies for Super aging society"

4th day : August 29

09 : 00 – 10 : 15	Seminar 7 “Affective companion for elderly people: How to make emotional interaction between care-giver and care-receiver” Dong-Soo Kwon Professor, Korea Advanced Institute of Science and Technology
10 : 15 – 10 : 30	Break
10 : 30 – 11 : 45	Seminar 8 “From service robots to biomedical robots” Sung-Chul Kang Director, The Korea Institute of Science and Technology
11 : 45 – 13 : 00	Lunch
13 : 00 – 14 : 15	Group Work “Virtual Planning of Our Collaborative Research Projects”
14 : 15 – 14 : 30	Break
14 : 30 – 15 : 45	Seminar 9 "Robot Partners for Information Supports to Elderly People based on Informationally Structured Space" Naoyuki Kubota Associate Professor , Tokyo Metropolitan University
15 : 45 – 16 : 00	Break
16 : 00 – 17 : 00	Group Discussions 4 "Preparation of presentation"
18 : 00 – 19 : 30	Dinner

5th day : August 30

09 : 00 – 10 : 00	Seminar 10 “Needs Finding and Marketability” Hisato Kobayashi Professor, Hosei university
10 : 00 – 11 : 30	Group Discussions 5 "Preparing Presentation"
11 : 30 –	Move to Tokyo
18 : 00 – 19 : 30	Dinner
20 : 00 – 22 : 00	Group Discussions 6 "Rehearsal of Team Presentation"

6th day : August 31

09 : 00 – 11 : 30	Presentation “On Our Future Collaborative Research Projects”
12 : 00 – 13 : 30	Lunch
13 : 30 – 15 : 00	Special Seminar Address In Ho KIM , Director of Center for Int'l Affairs, NRF Brief introduction of the activities of the Japan-Korea Joint Committee for Basic Scientific Research Hisashi Kato Director, International Program Department, JSPS Special Seminar “Hope for research collaboration of young Japanese and Korean researchers” Jaeho YEOM Former committee member Professor, Public Administration, Korea University
15 : 30 – 17 : 00	Closing Ceremony/Farewell party Address Kunio Takayanagi Former committee member Honorary Professor, Tokyo Institute of Technology Mancheol SUH Former committee member President, Geoenvironmental Science, Kongju National University Makoto Asashima Executive Director, JSPS